

がんばるこのひと、楽しむあのひと

私の生涯学習



囲碁の楽しさ、多くの
人に

宏(61歳・栗原町)
堀場ノ保公園囲碁愛好会会員

教員を退職して二年目、細いビールの傍ら囲碁を楽しまれています。雨の日は、待つていたかのように仲間が果来ります。とどろいていた大会も再開され、今夏、五回目の大会が開催されました。

幸い公民館長、審議委員、文化部、小学校長と大の愛好家がそろって来ます。其のやや、小学生の全国大会もあり、国際交流も盛んです。其の良さを、若い方々にも知っていただきたいと思ひます。



月1回触れる心の
豊かさ

本田とも子(60歳・深江町)
富永 木田と公 短歌教室生

職を退き、緊張感もなく多忙の一途をたどる自分に、これではいけないと思つていたとき、公民館の短歌教室の誘いを受け入れました。

・月一回、詠まれた作者の心の豊かに触れさせていたのだとあります。

夕飯の後、秋の夜長の独り遊び、あつちの出来事を耳にし、目で見え、その感動を三十一文字に表現する。生きた化けにならぬよう無知なる我を助ましたつがなりです。



勝ちたい最後の
富永大会

幸地将一(12歳・深江町)
富永少年剣道教室生

はくは、四年生の時から剣道をやっています。いつも土曜日に練習しています。はくは四年生の時は、いつも上級生をやつて強く打たれたら、それでいいなと思っていました。それで、勝てました。

爽快感、足が冷たくて、はくはもう六年生なので、あと六か月がはくははつて二月にある最後の富永大会に勝つように努力したいです。

気楽に楽しめるスポーツを

婦人体力づくりはまなすグループ

気楽にスポーツを楽しみ、健康維持に役立てたい……こんな気持ちを持った主婦たちが、五年前に集い結成したのが婦人体力づくりはまなすグループ。毎週金曜日の午前、千里派公民館のホールで楽しい汗を流します。

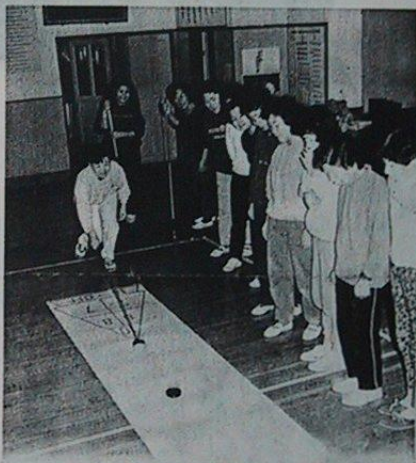
リーダーの古池和子さん(41歳)と、幅が広がり、また、例会では、まず準備体操で体をほぐし、少ずつ体を慣らし、いきなり、決して無理はせず、終始なごやかなムード、レクリエーションダンスに入るとボールいっは、に歓声がこだまし、笑顔と笑い声、とにかく明るさが目につきます。

われらお憲章人



きょうもどこかで
実践の仲間たち

・千里派町」は「最初は、市のスポーツ教室に参加していたのですが、レベルが高くなり、正直、ついて参加するのが苦しくなつて」と、楽しむこと、をモットーにして、同会結成の趣旨を語ります。当時、十人だったメンバーは今では、二十五人に、年齢層も二十代から六十



シャッフルボールを楽しむメンバー

＝千里派公民館で

会員は、運動神経に自信がなく、スポーツはしませんでした。でも、無理せず楽しめるので、と、ずっと続けたとのこと。メンバー

一の中には習ったダンスを子どもにせがまれ、家庭内でのレク教室を開く人(御倉紀子さん・39歳・島田町)もあり、スポーツが生活の中へは、入っている様です。

それでも競技科目は、フレスコ、ユテニス、ビーチバレー、グラウ、インドゴルフと幅広く、先年、島田町の婦人スポーツ教室と初めてフレスコ、ユテニスの試合を行いました。対戦成績は、二の次、おかげで、外に出れば気分爽快、ついでに鹿島町のチアリーダーも見学してきました。と、全員意気盛んです。

「みんな体を動かすのが好きな人だから、金曜日を心待ちにしているんですよ」と、吉松正子さん(39歳・千里派町)「おかげで体調も良いし、何より美容にも……」と、明るく笑います。

「レベルを気にせずスポーツを楽しむめる雰囲気、指導する市教委の滝口一彦さんは、同会の明るさと長続きの秘訣をこう語ってくれました。同会の連絡は千里派公民館(☎22-1048)へ」